

仮想デスクトップサービスのユーザー認証 オプションに Swivel 認証ソリューションを採用

エンドユーザーの利便性を損なわずに 高いセキュリティを実現

株式会社エヌ・ティ・ティ ネオメイト様(以下「NTTネオメイト」)は、NTT西日本グループの情報流通基幹ネットワークのメンテナンスを担っており、現在では様々な製品・サービスを提供しています。

NTTネオメイトが提供する高品質・高セキュリティな商品・サービスのブランドである



「AQStage」は、既存システムや他のクラウドサービスとのシステム連携が容易な拡張性、端末・ネットワークを選ばない柔軟性、豊富な実績に基づく信頼性の高さが特徴です。お客様の要望に合わせてハウジングサービスを組み合わせるなど、きめ細かいサービスを展開しています。

NTT西日本グループへの大規模な仮想デスクトップ (VDI) サービスの導入を機に、2013年に同サービスの外部提供を開始しました。そして今回、AQStage 仮想デスクトップサービスに付加する二要素認証オプションとして Swivel の採用を決め、提供を開始しました。

高まる二要素認証へのニーズ

AQStage 仮想デスクトップは、現在までに累計5万台の運用実績(2016年2月現在)を持つ、VMware Horizon を使った VDI サービスです。

NTTネオメイトでは、仮想デスクトップサービス向けにクライアント証明書を使ったユーザー認証を提供していました。しかし、クライアント証明書は有効期限など、管理負荷が高いという問題もあり、認証方式として他の選択肢が必要という認識は持っていました。

さらに、昨今のモバイルデバイスの進化に伴い、外出先からのリモートアクセスのニーズが高まってきました。その結果、早急にセキュリティ対策を強化する必要がでてきたのです。

VPN もお客様の要望に応じて提供していますが、コストが高くなる傾向にあります。そこで、コスト的なメリットがあり、利便性も高い二要素認証によりセキュリティを確保したインターネット経由のリモートアクセスを検討することになったのです。

複数の OTP を比較検討し、Swivel に決定

NTTネオメイトでは追加の認証方式について2014年頃から検討を始め、ハードウェアトークンやワンタイムパスワード (OTP)、生体認証などを検討しました。NTTネオメイトビジネスクラウド部門サービス戦略担当の能田氏は「ハードウェアトークンはトークンのコストがかかること、配布や有効期限管理などの管理負荷が高いということで見送られ、生体認証もコスト面でまだ一般的ではないだろうということで、最終的にワンタイムパスワードに落ち着きました」と、当時を振り返ります。ただ、生体認証については、要望があれば提供できるよう、準備はしているということです。

そして、OTP ソリューションについて数社の製品・サービスを検討し、最終的に Swivel のソリューションを採用することに決定しました。採用の理由は①運用のしやすさ②柔軟性③コストでした。



株式会社エヌ・ティ・ティ ネオメイト 会社概要

| | |
|---------|--|
| 名称 | 株式会社エヌ・ティ・ティ ネオメイト |
| 代表取締役社長 | 坂口 隆富美 |
| 本社所在地 | 大阪府大阪市中央区内本町 2-2-5 |
| 設立年月日 | 2001年10月31日(2002年5月1日営業開始) |
| 資本金 | 1億円 |
| 株主 | 西日本電信電話株式会社 |
| 社員数 | 約6,000名(2016年4月1日現在) |
| 事業内容 | NTT西日本の情報流通基幹ネットワークのメンテナンス、オペレーション 自治体、企業等ネットワークの24時間365日メンテナンス、オペレーション IT環境に関わる企画、開発、販売、カスタマーサポート ソフトウェアの開発、販売、保守及びコンサルティング 電気通信に関する事業 電気通信、コンピューター等の各種研修の企画、実施等 |



システム構成イメージ

運用のしやすさ

NTT ネオメイトはサービス提供者ですから、お客様に対してサービスを提供する際の運用管理のしやすさは重要なファクターとなります。

Swivelは仮想アプライアンスの形で導入できるため、データセンター側の配備にあたって Active Directory や VDI サーバーなどを全て仮想的に組み合わせることができ、配備や管理が簡単にできます。

さらに、エンドユーザーの方々に使っていただくユーザーポータルを使いやすさも重要なポイントでした。ユーザーポータルが使いやすければ、管理側 (NTT ネオメイト及び顧客企業の IT 部門) の負荷を下げることができます。NTT ネオメイト IT ビジネス本部首都圏営業部のベルナルド ジョアニー亮平氏は、「Swivel の良いところは、ユーザーポータルの操作が直感的でわかりやすいところです。ユーザーポータルにアクセスして貰うことで、パスワード忘れなどの場合の初期化対応等の IT 部門の作業負荷を軽減できます。」といます。

柔軟性

様々なデバイスや認証方法を使えるのも、大きなメリットです。Swivel の特徴である PINsafe は、ソフトウェアトークンとしては非常にユニークですが、お客様によっては利用が難しい場合もあり、そういった際にはスマートフォンや Web ブラウザを使って OTP を表示する一般的な運用も可能で、お客様の様々なニーズに幅広くお応えできるのです。

現在一番利用されているのが、スマートフォンを使ったモバイルアプリです。スマートフォン用の専用ク

ライアントに OTP が表示され、それを使って仮想デスクトップにログインします。最近ではスマートフォンの所有率が増えているため、この形態を選択する企業が最も多いということです。



その他では、社内据え置き型のクライアントでは、Windows タスクバーの利用も多いということです。

Swivel は、ソフトウェアトークン以外にハードウェアトークンの利用も可能なため、全ユーザーにスマートフォンが行きわたっていない場合などでも柔軟に対応できるため、サービス提供側としては安心できます。



QR コードを使い、初期設定を簡素化

ベルナルド氏から「最近サポートされた、QR コードを使ったクライアント設定が便利です。クライアントの設定情報を組込んだ QR コードをメールに貼り付けて送り、受信画面をスマートフォンで撮影して貰えば、そのままクライアントパラメータを設定できるため、配備の手間が大幅に軽減されました。導入先の IT 部門様からも喜ばれています。」と言って頂きました。

セキュリティストリングスも、常に新しいオプションを提供し続けている Swivel 製品のサポートを通じて、お客様の安全性・利便性を高めていきたいと考えています。



(左から) 株式会社 NTT ネオメイト ビジネスクラウド部門サービス戦略担当 能田 雄規氏
株式会社 NTT ネオメイト IT ビジネス本部首都圏営業部 ベルナルド ジョアニー亮平氏



セキュリティストリングス株式会社

〒102-0082 東京都千代田区一番町 6 番地 相模屋本社ビル 7F

Email: sales@securitystrings.com

URL: <http://www.securitystrings.com>

お問合せ